

四万十川自然再生事業 ツルの里づくりⅡ期整備、進行中！

国土交通省中村河川国道事務所は、平成14年度から実施している自然再生事業(ツルの里づくり)について、令和元年度に事業効果を確認、課題の整理を行ってⅡ期計画を策定し、現在その整備を進めています。
このうち、中山地区と間地区の湿地の改良について、このほど中山地区の工事が完了しました。

中山地区ねぐら湿地の 完成状況[R6.8.7]



課題

ツルの主なねぐらとなる四万十川の砂州が
使えないときにツルがいなくなってしまう

代替ねぐらが必要



整備のポイント

- ①餌場の近くに整備していた中筋川の湿地(中山・間)を
ねぐらとして改良する。近くて安全
- ②湿地を水路で隔離する。



四万十川流域生態系 ネットワーク推進協議会の取り組み



行政、教育、観光、環境など、いろいろな団体や人々が参画し、ツルを活かした地域・人づくりの取り組みを推進しています(事務局:国土交通省中村河川国道事務所)。

ツルの越冬地づくり、視察、普及啓発、観光振興に向けた企画検討など、年間を通じて本当にいろいろ取り組んでいます。「蜚湖まつり」(令和6年11月9日)や「たのしまんとリバーフェスティバル」(11月10日)、「四万十川の里祭り」(11月30日)でのパネル展示や折り鶴体験、また、FMはたらんど(ラジオ)への出演(11月28日13:25~13:50オンエア)などが皆さんの目に、耳に、とまったのではないのでしょうか。

これからも地域内外での知ってもらい取り組みのほか、いろいろ続けていきます！！



パネル展示(たのしまんとリバーフェスティバル)



折り鶴体験(四万十川の里祭り)



ラジオ出演(左から四万十川の里づくりの会 佐伯会長、中村河川国道事務所 新谷課長、FMはたらんど 山本放送局長)

四万十つるだよりに関するお問合せ

■飛来状況や地域の取り組みに関すること

四万十つるの里づくりの会
事務局

〒787-0029 四万十市中村小姓町46中村商工会議所内
tel:0880-34-4333 mail:nakacci2@mocha.ocn.ne.jp

■工事(自然再生事業)に関すること

国土交通省四国地方整備局
中村河川国道事務所 計画課

〒787-0015 四万十市右山2033-14
tel:0880-34-7306 mail:skr-nakama45@mlit.go.jp

【お願い】ツルは非常に警戒心が強い鳥ですので、200~300m離れた場所から双眼鏡などで観察して下さい。写真撮影は望遠レンズを使いましょう。

「四万十つるだより」の印刷は、四万十川の里づくりの会が(一社)四国クリエイティブ協会の助成を受けて実施しています。



四 万 十



つ る

だ

よ り

Vol.30

発行日/令和7年2月21日

発行/四万十つるの里づくりの会、国土交通省中村河川国道事務所
<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>

※ツルの写真提供: 夕部真一氏(四万十川の里づくりの会)、国土交通省中村河川国道事務所

飛来したツルは江ノ村が大好き！

四万十つるの里づくりの会(以下、つるの会)と国土交通省中村河川国道事務所は、毎年ツルが飛来する10月下旬から地元の方々とも連携して、飛来状況調査を行っています。

令和6年度の飛来期間は、11月9日~10日、12日、20日~12月4日と短く、残念ながら越冬はしませんでした。また、最大飛来数もナベヅル1羽と、少しさびしい結果になりました。

ですが、今季訪れたツルは、つるの会が越冬地整備を行い、国土交通省が自動撮影カメラで見守っている江ノ村地区の水田にずっと滞在してくれました。「設置したデコイ(ツルの模型)を仲間だと思って安心して過ごせた」、「水を張った田んぼがねぐらとして良かった」、「米作りを続けているので、落ち穂など、あぜ畦も含めて餌があった」など、当地での整備がツルに気に入ってもらえたのだと思います。

江ノ村地区では、平成14年から国土交通省が川で、つるの会も平成18年の設立当初から陸(水田)で、自然再生(ツルの里づくり)を続けてきました。そして、今、ツルのねぐら利用はなんと5年連続！！「最初は全然ツルが来なかったけど、地元の子どもたちにも手伝ってもらいながら、トライ&エラーで取り組みを続けて良かったね」と、みんなで喜び合いました。



デコイに囲まれて休息。ここで餌を撮ることも(矢印が本物) [R6.11.12]



飛翔[R6.11.12]



未耕起水田で餌を探す[R6.11.23]



デコイの中央で寝る(矢印が本物) [R6.12.1]



江ノ村のツル越冬地整備箇所(全景) [R6.11.30]

ツルの自然体験学習会

令和6年度も、四万十つるの里づくりの会と国土交通省中村河川国道事務所の共催で、四万十市立東中筋小学校5年生と6年生を対象とした学習会を開催しました。

第1回
10月24日

四万十市に飛来するツルの生態や昭和の頃からの確認数の推移、これまでの保護活動のあゆみについて紹介しました。



ツルの授業

第2回
11月25日

江ノ村地区に滞在中のナベヅルを観察してもらいました。また、国土交通省が整備した中筋川中山箇所なべのねぐら湿地も案内し、改良工事のポイントなどを説明しました。



ツルが滞在する江ノ村の水田
(赤丸が本物、その他はデコイ(模型)です)



ツルの観察
(堤防に停めたバスの中から双眼鏡で)



中山ねぐら湿地の見学
(湿地の詳細は裏面をチェック!)

第3回
12月13日

同じ四国内のツル越冬地である愛媛県西予市いわきの石城小学校とWEB接続して授業を行い、子どもたちにお互いの取り組みを発表してもらいました。

東中筋小の発表では、「映画監督の安藤桃子さんと一緒に作った映画は、東中筋地域の豊かな自然とツルについて知ってもらい、多くの人に東中筋を好きになってもらいたいという思いを込めて作りました」という言葉もありました。子どもたちがツルを地域の誇りと思ってくれていることに、取り組みの手ごたえを感じました。



オンライン交流の様子



学習成果をまとめた力作のプレゼン



子どもたちの
コメント、
嬉しすぎる!

司会者(つるの会事務局の熊岡さん)

第16回 四万十つるの里祭り

令和6年11月30日 四万十市立東中筋中学校

- 主催：四万十つるの里づくりの会
- 後援：四万十市、四万十川自然再生協議会
- 協力：国土交通省中村河川国道事務所、渡川ダム統合管理事務所
- 助成支援：(一社)四国クリエイイト協会、(株)建設マネジメント四国

※このほか、地域のたくさんの事業者の皆様にご協賛をいただきました。

つる祭りでも東中筋小学校の5・6年生は大活躍! 6年生によるツルの学習発表、続く5・6年生製作の映画「ヘブン ヒガナカ」(高知在住の映画監督 安藤桃子氏の指導を受けて撮影した短編映画)の上映会は満員御礼状態で、後日のニュースや新聞紙面をにぎわせました。5年生が作ったもち米販売も長蛇の列ができました。

恒例の「ツル観察バスツアー」では、江ノ村地区に滞在中のナベヅル1羽を観察でき、参加者からは「つる祭りで本物のツルを見られて満足!」という声が寄せられました。

また、会場中央の「ツル食堂」(飲食スペース)は、四万十市内の河川敷で摘んだ野草が入ったおかゆ、焼きそばや鮎飯などの四万十の味を堪能する人でにぎわいました。小さいお子さんが楽しめる体験イベントも多く、さまざまな年齢の方が祭りのひと時を楽しんでいました。

東中筋小学校『ひがなカ』の子どもたち大活躍!!



ツルの学習成果発表



映画上映会(中央は安藤桃子さん)



お米販売



木のおもちゃで遊ぼう



ツル観察バスツアー



ツル食堂



大雨体験



土佐中村一條太鼓



四万十の野草がゆのプレゼント